

MISAKI

KOKUBU CENTRAL HOSPITAL  NEWS

vol.1

霧島市民に必要とされる施設
美崎会 活動 情報誌



FREE

ご自由に
お取りください

理事長挨拶

greeting



医療法人美崎会 国分中央病院
理事長・院長
社会福祉法人みさき会 理事長

藤崎 剛 斎

Takayoshi Fujisaki

Profile

1999 関西医科大学医学部卒業
2002 国分中央病院 院長就任
2003 医療法人美崎会設立 理事長就任
2015 社会福祉法人みさき会 理事長就任

みなさん、医療法人美崎会理事長、国分中央病院院長の藤崎です。昨年10月に日本慢性期医療学会鹿児島学長を行って以来です、久しぶりの発刊ということになります。学会自体は、2500名程の参加者、632の演題登録ということで大成功。これもみなさま方のご協力のおかげと深く感謝しております。今年は12月に大阪で開催されますので、応援の程よろしくお願い申し上げます。さて、以前より当院は、霧島市の中において高齢化に伴い重要となってくる慢性期医療を任っておりますが、その慢性期医療とはどのようなものなのでしょうか。ここで改めて整理をし、その機能とはどういったものなのかみなさんと一緒に、理解を深めイメージを共有することが必要であると考えます。

一般的には、超急性期⇒亜急性期（リハビリテーション）⇒慢性期⇒介護・在宅

という流れになっております。詳しいことにつきましては、今後、少しずつ述べていきますが、医療機関である以上はどの施設においても純然たる医療行為を行うのがその使命となります。

肺炎等の感染症があれば抗生物質の投与を行う。心不全、呼吸不全、急性腹症等の発症があれば治療を行う。

必要であれば、呼吸器の使用や人工透析なども行う。それが、病院というものです。

当院は、今後も自分達にできる医療行為は積極的に行う慢性期病院として、その役割を霧島市内で続けていく所存でございます。また、お気付きの点等ございましたら気にせず、どんどんおっしゃってください。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

国	分	中	央	病	院
看	護	・	介	護	部
と	し	て	の	役	割
と	取	り	組	み	



みなさんは看護・介護と聞いて 思い浮かぶ姿はどのようなものでしょう。

優しく話を聞いてくれる姿・・・注射や検査をする姿・・・バタバタ走りまわる姿・・・など、

みなさんが看護師の仕事と聞いてすぐに思い出す姿は、医師からの指示のもと診療の補助として行っている注射や点滴をする姿が多いのではないのでしょうか。介護と聞くと食事や入浴など身の回りのお世話をしている姿でしょうか。私たちはみなさんが知っているよりも多くの仕事を幅広く行っています。

私たちは、生まれたばかりの赤ちゃんから亡くなるまでの方、全ての人を対象にケアを提供しています。その人がその人らしく過ごせるよう、健康を維持できるよう手助けを行うこともあれば、何か病気や怪我をされている方へは健康を最大限取り戻す手助けをし、できない部分のお手伝いすることもあります。このように食事や入浴などの身の回りのお世話はもちろんですが、対象となる方やご家族のその時々にある不安などに対する精神的ケアももちろん行っています。不安や悩みがある時には何でも相談して

いただいて構わないと思います。介護士は日常生活の援助という面においては看護師よりも技術にまさっており、きめ細やかなケアをしており、対象となる方にとってはより近い存在にあるかもしれません。

当院の看護・介護部は笑顔を忘れず、心のこもった看護・介護を提供することを目標に日々の業務に取り組んでいます。当院の患者さんの多くは80歳以上の高齢者です。これからの人生をどのように過ごしていきたいか、できる限り患者さんやご家族の思いを聴き、寄り添えるようケアにあたっています。入院生活の中での苦痛が軽減できるよう、また退院後の生活への不安を少しでも減らし退院していただけるよう、スタッフ一丸となってケアに取り組んでおりますので、気兼ねなくご相談やご意見いただければと思います。各病棟や当院の看護部としての取り組みは次回以降少しずつ紹介していきたいと思っておりますので、楽しみに。



お薬のスペシャリスト

薬剤師の役割

薬剤師は、病気の治療や日常生活における健康維持に欠かせない「薬」を取りあつかう専門家です。求められる役割は幅広く、薬剤師法で「薬剤師は、調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする。」と定めています。病院での働きとしては法律の定めのとおり、医薬品全般における豊富な知識を活かし、医師の処方せんにもとづく調剤や服薬指導、医薬品の管理、患者さんの相談にのったりします。

主な仕事

1. 調剤業務

医師の処方せんに基づき、外来患者さんにお渡しするお薬を調剤する外来調剤と入院している患者さんのお薬を調剤する入院調剤があります。調剤業務は以下の手順に沿って正確に行っています。

- 1) 処方せんに記載された内容について確認
- 2) 処方せんに記載されている剤形、服用量、服用方法などを考慮し準備
- 3) 散剤を正確に量り取り、よく混合し、機械で一回分毎に分包
- 4) 調剤されたお薬が、処方せんの内容通りかを、調剤した薬剤師と違う薬剤師が確認
- 5) 患者さんが正しく服用および使用できるように情報提供を行い、お薬を交付

2. 調剤業務

薬を必要としている患者さんに対し、お薬の効能や副作用などの説明を行い、安心安全に服薬できるよう指導する業務になります。

3. 薬品情報管理業務

医薬品を適正に安全に使用するためには、投与方法、投与量、副作用、相互作用などの様々な情報を収集し、その情報が適切なものかどうか評価していくことが必要となります。収集した医薬品情報は、書籍や文献の様なアナログ情報として、またコンピューターのようなデジタル情報として管理し、必要に応じ医師や看護師などの医療従事者や、患者さんへ情報を発信します。また、医療機関内で発生した副作用情報の収集も大切な仕事です。医薬品は、少数の患者さんに対して有効性や安全性を確認した上で発売されますが、発売後多くの患者さんに使用されることにより、それまで見つかることのできなかった副作用を発現することがあります。新たに見つかった副作用や、重大な副作用は、厚生労働省に報告する必要があるため、報告することによって、厚生労働省から安全性情報が発信され、様々な医療機関で情報共有を行います。このように厚生労働省、医療機関そして製薬企業の間での情報共有を行います。

自分らしく生きる

リハビリテーションってなあに？

病院でリハビリテーション(以下、リハビリ)といわれると、真つ先に病院での訓練風景を思い浮かべるかたが多いと思います。

しかし、それだけがリハビリではないのです。

そもそもリハビリとはラテン語で、

Re(再び)+habilis(適した)

すなわち『再び適した状態になること』

『本来あるべき状態への回復』などの意味を持ちます。

リハビリとは単に訓練をさす言葉ではなく、障害を持った方が可能な限りもとの社会生活を取り戻すことを意味します。

それには、障害自体が軽減するように機能訓練を行う必要もありますが、それ以上に本人が生活の中で積極的に体を使うことが重要です。さらには体の不自由が残っても、安心して生活ができるような環境を実現することが必要です。

病院でのリハビリは、患者さんの体の状態を理解しているスタッフと一緒に、今の状態でどこまでのが出来るかを考えることがなにより重要だと考えています。

力が足りない部分に関しては、皆さんが想像している訓練が必要になることもあります。が、それ以外にも今まで使っていないかった福祉用具などを検討し、前より過ごしやすく生活するための提案なども行います。

病院での何よりの天敵は、過度な安静です！

一昔前の『病気の時はとにかく寝ないと』という知識は、現代の考えでは害にしかありません。

現代医学は、足の手術をした人が翌日には歩く練習をしている時代です。今の自分の状態ではどこまでの事が出来るのか？どういったことをしたほうがいいのか？等、患者さんのリハビリを応援するために相談相手にリハビリスタッフがお手伝いします。



栄養通信

国分中央病院 管理栄養士：木園 広海

病院の管理栄養士ってどんな仕事？

私は管理栄養士という職種に就いてから「管理栄養士ってどんな仕事ですか？」と聞かれることが度々あります。献立の作成、食材の発注、患者様の栄養管理、厨房管理、他職種との連携など仕事内容は様々です。また、どの業務もその先にいる患者様の姿を想像し行っております。入院されている患者様は寝たきりの方も多くいらっしゃいます。

そんな中で日常の喜びを感じ、楽しむことが出来る食事は重要な役割を果たしていると思います。当院では、様々な治療食に対応しながらも、患者様の要望にできる限りお応えした食事を提供しています。食べることや、健康状態が改善していく過程を患者様と一緒に喜ぶことができるとてもやりがいのある職業だと感じています。

一人一人に適した食事で健康に

食事のスタイルは近年多様化してきています。和食、地中海食、ベジタリアン、ビーガン、マクロビोटニックダイエット食、糖質制限食など様々です。自由に選択できますが、知識がなく間違った方法で食事を行うと健康を損なってしまう恐れもあります。また全員が全員同じ方法で食事をしていても健康になるとは限りません。一人一人その人に適

した食事方法や食事内容にすることで健康に近づくことが出来ます。

私たち管理栄養士は食事の観点から皆様の健康をサポートし、少しでも充実した食生活のお手伝いをさせていただきます。

血糖値が気になる方へおすすめレシピ ～おから粉でポテサラ風サラダ～

材料(4人分)

おからパウダー	20g
きゅうり	1/2本
にんじん	1/3本
ウインナー	4本
玉ねぎ	1/4個
マヨネーズ	大さじ3
オリーブオイル	大さじ1
酢	大さじ1
プレーンヨーグルト	大さじ1
砂糖	小さじ1
塩	ふたつまみ
胡椒	少々

作り方

1. おからパウダーに水80mlを加えて戻す
2. にんじんとウインナーをさっと茹でる
3. きゅうりを薄切りにする
4. 玉ねぎを薄切りにし、水にさらし水気を絞る
5. にんじんを1センチ四方の薄切りにする
6. ウインナーを薄い輪切りにする
7. 上記食材をボールに入れ、マヨネーズ・オリーブオイル・酢・ヨーグルト・砂糖を加え、ヘラで均一に混ぜる
8. 最後に塩と胡椒で味を調えたら出来上がり



地域医療介護連携室

国分中央病院 相談員：春田 俊一



地域医療介護 連携室の役割

地域医療介護連携室では、患者様・ご家族様が安心して療養生活を過ごしていただけるよう、入院相談から療養生活における相談援助、退院に向けての支援、地域医療機関・施設・事業所等との連携活動を医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、リハビリ等の多職種で行っております。

主な仕事

入院支援

- ・他の医療機関・福祉施設等からの入院紹介の受付と予約
- ・他の医療機関・居宅介護事業所・施設等からの相談窓口
- ・紹介元への返事・報告等の確認

地域連携

- ・外来・入院患者様からの医療相談、転院、施設入所相談

退院支援

- ・空床情報の提供・地域医療機関への訪問活動
- ・退院時支援
(在宅療養に向けての制度紹介や施設利用希望者への利用調整など)

その他、医療機関受診に伴う経済的な問題、受診・受療の不安、転院や退院に向けた後方医療機関等との連携など患者様やご家族様からのご相談に対して、安心して療養できるよう問題解決に向けて援助を行っていきます。

お気軽に地域連携室をお訪ねください。

美崎会グループのご紹介



国分中央病院

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央1丁目25番70号

TEL. **0995-45-3085**

サービス付き高齢者向け住宅

メディカーサ国分中央

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央1丁目25番51号

TEL. **0995-73-7111**

地域密着型特別養護老人ホーム

ソ・ウェルこくぶちゅうおう

〒899-4332 鹿児島県霧島市国分中央3丁目12番29号

TEL. **0995-73-8300**

美崎会グループのWebサイトは下記よりご覧ください

<http://www.misakikai.or.jp/>

美崎会

検索

